

かくて中国は民主化する



発売日: 2017年4月28日

出版: 幸福の科学出版

著者: 矢内筆勝

ページ: 220

PDF

9000万人の共産党員が14億人の人民を、「嘘」と「力」と「恐怖」で支配する一党独裁国家、中国。

その中国の「民主化」は果たして可能なのか。

孫文から始まる「中国民主化の100年」を振り返りつつ、中国共産党が隠蔽する建国前後の「不都合な真実」を明らかにし、中国共産党による「正統性なき支配」の実態と、中国大陸に現在も「マグマ」のように流れる「民主化」への民衆の希求の存在を分析する。

元朝日新聞記者の著者が、トランプ革命以後の中国民主化の可能性と、それに向けた日本の役割と使命を示唆する。

【目次】

対談「中国の民主化と日本の使命」
コミック「中国共産党の『不都合な真実』」
まえがき
序章 「民主化」の定義について
第1章 中国における「民主化」の起源
第1節 孫文の「三民主義」と「五・四運動」
第2節 中国建国と協商会議
第2章 毛・トウ時代と「民主化運動」
第1節 毛沢東と「民主化」
第2節 トウ小平時代と「民主化」
第3章 「中国の民主化」とネット時代の民主化運動
第1節 共産党と「中国の民主化」
第2節 一党独裁の弊害とネット社会
終章

【著者略歴】

矢内筆勝（やないひっしょう）
幸福実現党総務会長兼出版局長
福島県本部代表

1961年福島県生まれ。早稲田大学社会科学学部卒業後、朝日新聞社会部記者を経て幸福の科学に入局。

主に広報部門を担当した後、月刊「ザ・リバティ」編集部、広報局長、常務理事等を歴任。

2012年12月より2013年7月まで、幸福実現党党首。2013年9月より現職。

2016年、拓殖大学大学院国際協力学研究科安全保障専攻博士前期課程修了。

2009年より中国本土や尖閣諸島近海を視察し、中国の軍事的な脅威の到来を警告。日本の国防強化政策を訴えてきた。

幸福実現党国防部会顧問。「中国の脅威から子供の未来を守る会」会長、「中国・マスコミ問題研究会」「福島安全宣言実行委員会」代表。

主な著書に『国難に備えよ！』『これが真実の放射能の話』『迫りくる！中国の侵略から沖縄を守れ！』『尖閣・沖縄が日本の領土である動かぬ証拠』（幸福の科学出版）など。

2017年、本論（原題『中国の民主化の起源と現在、そして未来 - 孫文の革命時代からネット社会へ - 』）で、幸福の科学ユートピア学術賞を受賞。

<https://k2s.cc/file/2d8ad620af56d/wuQzTJM0i.pdf.rar>